

ヒートポンプをめぐる諸問題への対応 ～「ヒートポンプ問題連絡会（仮称）」の発足について～

ヒートポンプとは、熱交換の仕組みによって低温と高温の熱を移動させる技術で、冷蔵庫、エアコン、給湯器、ビル空調、冷凍冷蔵ショーケースなど冷凍冷蔵空調設備全般に用いられている。

この数年、ヒートポンプは「地球温暖化対策の切り札」として喧伝され、電力会社やヒートポンプメーカー各社の出資で設立されている（財）ヒートポンプ・蓄熱センターでは、ヒートポンプの高性能化、普及拡大で大きな経済効果とCO₂の大幅削減が期待できるとの報告書を発表し、冷暖房や給湯がすべてヒートポンプに変われば1億4000万トンの削減可能性があるとしている。こうした背景のもと、現在、ヒートポンプは、地球温暖化問題の需要対策として「高効率ヒートポンプ給湯機」や「省エネ型エアコン」などの大規模な導入が主要政策として位置付けられている。

しかし、最近の諸状況を鑑みると、ヒートポンプを地球温暖化対策とすることに疑問を投げかけざるを得ない。その理由は以下の3点に集約される。

1. 性能表示の意図的工作

「省エネ型エアコン」の省エネ効率を示す表示について、メーカーがその数値を意図的にかさ上げし、消費者を欺く情報工作がなされていたこと。

2. 表示効率の実態との乖離

ヒートポンプ効率を示すCOPやAPFなどJIS規格による表示は、使用時の実性能と大きく乖離していること。

3. 冷媒フロンの増量

ヒートポンプの冷媒として使用されているフロンは9割方放出されているのが現状で、その実態をふまえると省エネによる削減を相殺するものであること。

そこで今後、「ヒートポンプの性能表示に関する公開質問状」を実施した団体を中心として「ヒートポンプ問題連絡会（仮称）」を発足し、健全な地球温暖化対策が実施されるよう、上記に象徴されるヒートポンプ問題を監視し、諸課題を分析、提言していくこととする。

問合せ：気候ネットワーク東京事務所

〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-7-3 半蔵門ウッドフィールド 2F

TEL: 03-3263-9210 FAX: 03-3263-9463